

# 専門分野

## 地域・在宅看護論

目的 地域・在宅で療養しながら生活している人とその家族を理解し、在宅看護に必要な基礎的能力を養う。

- 目標
- (1) 疾病や障害をもちながら地域で生活している人とその家族を理解できる。
  - (2) 地域・在宅看護の意義と役割について理解できる。
  - (3) 地域・在宅看護に必要な基本的援助方法を理解できる。
  - (4) 地域における支援体制を学び、その活動や必要性を理解できる。

科目	単位 (時間)	科目目標	主な内容
暮らしを支える看護	1 (30)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域社会における人々の多様な暮らしを理解できる。</li> <li>2. 地域住民の看護へのニーズと制約を理解できる。</li> <li>3. 地域の防災対策、救護体制について理解できる。</li> <li>4. 地域の在宅療養の実態を知り、活用につなげる方法を理解できる。</li> <li>5. コミュニケーション技術を磨き、看護師としての態度を学ぶことができる。</li> </ol>	地域探検 地域防災 救護体制 在宅看護の対象 介護保険等の社会福祉制度 地域包括ケアシステム マナー講座
地域・在宅看護概論	1 (30)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域における保健医療福祉の動向から在宅看護の意義と必要性を理解できる。</li> <li>2. 地域看護における在宅看護の目的と役割を理解できる。</li> <li>3. 地域で療養する対象とその家族の特性とニーズを理解できる。</li> <li>4. 在宅療養生活を支えている体制、社会資源を理解できる。</li> </ol>	保健医療福祉の動向 地域保健活動 在宅看護の対象とその特性 介護保険等の社会福祉制度 地域包括ケアシステム
地域・在宅看護援助論	1 (30)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 在宅看護における援助関係の基本を理解できる。</li> <li>2. 在宅ケアの特徴を学び、生活の場における基本的な援助方法を理解できる。</li> <li>3. 在宅療養者及び家族のニーズに応じた訪問看護活動を理解できる。</li> <li>4. 多職種との連携や社会資源の活用を踏まえた在宅を理解できる。</li> </ol>	在宅看護のマネジメント 在宅療養者のニーズ 療養者、家族への看護活動 在宅ケアの特徴と生活の場での看護援助とその工夫
地域・在宅看護援助技術	1 (30)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療依存度の高い在宅療養者を支える看護を理解できる。</li> <li>2. 在宅における終末期看護の特徴を理解できる。</li> <li>3. 事例を通して看護過程を展開できる能力を身につけることができる。</li> </ol>	在宅医療と看護 終末期の在宅看護 住環境整備 多職種との協働 社会資源 看護過程の展開
暮らしを彩る看護	1 (15)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 暮らしのクオリティについて学ぶことができる。</li> <li>2. リラクゼーション方法と意義を理解できる。</li> <li>3. 広く看護を学び、自己の看護観を磨く一助にする。</li> </ol>	音楽療法 アロマセラピー 講演会
地域・在宅看護論実習	2 (90)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 対象及びその家族の身体状況、生活環境をとらえ、状況を理解できる。</li> <li>2. 対象及びその家族の必要とする援助を理解できる。</li> <li>2. 正しい観察技術を身につけ、方法を理解できる。看護を計画し、実施できる。</li> <li>4. 療養生活を支えるサポートシステムと継続看護を理解できる。</li> <li>5. 通所介護の役割と活動内容を理解できる。</li> <li>6. 地域の保健活動の内容とその役割を理解できる。</li> <li>7. 対象及びその家族のQOLについて考え、自己の看護観を深めることができる。</li> </ol>	在宅療養者・家族の価値観、生活環境、生活背景 個々の状況に応じた看護 療養者、家族への療養支援 介護保険制度など社会資源の活用 継続看護 多職種・多施設との連携・協働 通所介護の役割と看護 地域保健事業の内容と目的 関連する法律や制度